

鶏渡権現様の由来

《志 茂》

志茂鶏渡の字名は、鶏渡権現様がこの地に祀られてあったので、その名がある。鶏渡権現様は蒲沢屋敷の和田一族の氏神様で、現在、字鶏渡の和田勝明氏の宅地内にあった。

県道ができる以前は、蒲沢屋敷より長沼に通ずる道は、この鶏渡権現様の森の所を通り、沼の御前の所を通った、古い道筋である。明治の中頃に、和田家の本家の地に、権現様を移した。

権現様の所には別の二つの祠が祀られてある。一つはイボ神様で、手足にイボができると、ここに祀られている丸い石で、イボをこすると、イボが取れるというので、昔は子どもたちの信仰があった。イボが取れると、また丸い石をお礼に上げた。

もう一つの祠は氏神様なのか言い伝えはない。ここに阿弥陀様の石像が立てられてある。その裏側には、「元禄六年、春岩道意信士、和田五郎左衛門」と刻まれてある。和田氏の先祖様であろう。

なお二九弁の菊花の紋も刻まれてある。権現様は悪病の神様として、昔は屋敷の人はもちろん、遠くの人が沢山御参りに来たたと伝えられているが、今は訪れる人もない。



鶏渡権現様